

おめでとう! *Congrats!* *Japanese Heritage certification!*

日本遺産決定!



文化庁に認定された淡路島日本遺産。丸6年を迎え、新たな展開を迎えています!

淡路島日本遺産に関するアンケートを実施しています。

2016年の認定から約6年が経つ淡路島日本遺産。サポータークラブの発足、小中学生への小冊子配布、スマホRPGの完成、漫画ワールドカップの開催など、さまざまな取り組みを実施する中で、淡路島日本遺産への島民の皆さまからのご興味を測るアンケートを実施することになりました。(募集期間: 配布時~2022年5月末)
淡路島日本遺産RPGの最新グッズ詰め合わせを、抽選で10名にプレゼントいたします。
発表は、発送をもって代えさせていただきます。

こちらにアクセス



活動報告
Report

淡路島を中心とした日本の歴史・文化を題材にした漫画作品の世界大会『全国くにうみ漫画ワールドカップ』を開催!
~ 国内外より350点を超える応募作品の中から総合大賞が決定 ~



2019年からスタートした全国くにうみ漫画ワールドカップ。漫画・イラストによる「淡路島日本遺産」の普及と、歴史・伝承を活用した国内外各地との交流の促進を目的としたコンテストとして、幅広い世代から人気を集めています。今年も、淡路島部門「淡路島日本遺産」、ご当地部門「伝承・昔話・伝説」の2つのテーマで、2021年7月1日~11月30日まで作品を募集。日本全国から全355点もの応募が集まり、3月19日にグランプリが決定しました。

審査委員: 里中 満智子 (マンガ家/大阪芸術大学教授・キャラクター造形学科長)
中村 伊知哉 (慶應義塾大学教授)
堀井 雄二 (ゲームデザイナー/洲本市名誉市民)
吉村 和真 (京都精華大学副学長) (以上、五十音順)
淡路島日本遺産委員会代表

応募総数は、国内・国外から
355点!

- I 淡路島部門 162点
 - ①漫画/14点
 - ②イラスト/148点
- II ご当地部門: 193点
 - ①漫画/72点
 - ②イラスト/121点

活動報告
Report

サポータークラブが3市で観光ガイド研修を体験!



淡路島日本遺産の観光ガイドを目指すネットワーク「サポータークラブ」。今年も新型コロナウイルスの感染拡大にも配慮しながら、10月・12月・2月と3市それぞれの構成文化財を現地学べる研修が実施されました。今年も専門家によるレクチャーにとどまらず、発掘現場を見学することができたり、お城の石垣に隠された歴史に触れたり、各市の知識豊富な専門家の皆さんから貴重なお話を聞くことができました。全国から注目が集まる舟木遺跡からは、発掘する度に新しい発見が見つかる中で、これからもますます淡路島の日本遺産から目が離せません!

南あわじ市 2021年10月19日(火)

▼平安時代の発掘現場を見学

たまねぎ畑をはじめとした農地が多く、松帆銅鑿や古津路銅鑿などの歴史的な価値が高い大発見が続く南あわじ市。埋蔵文化財調査事務所定松さんがガイド役となり、縄文時代・弥生時代から現代に続く、市内の埋蔵文化財についてのレクチャー。養蚕地区では数年をかけて発掘作業を実施中。当日は、現場作業にもあたっている専門家から、このエリアの歴史背景や発掘方法、発掘された文化財などの詳しい解説もあり、メンバーは普段は触れることのないリアルな現場のお話で大興奮でした。



淡路市 2021年12月16日(木)

▼太古から守られる巨石信仰の地

2020年に国史跡に選ばれた「舟木遺跡」は、甲子園球場10個分にも及ぶ島内一番大きな弥生時代の集落だったことがわかってきました。またまた謎に満ちた最新事情をNHKのプラモリに登場された淡路市教育委員会の伊藤さんがテレビ出演時のエピソードを交えながら解説。その後、同じく文化財担当の新田さんに舟木遺跡の発掘現場を案内していただき、調査の最新情報を知ることができました。



洲本市 2022年2月24日(木)

▼洲本城の石垣の秘密を探る

1526年(大永6年)の築城から、安宅治興、仙石秀久、脇坂安治へと城主が変わる中で、脇坂安治の時代に、城の大改修として天守を造り、石垣の大改修を行い、今では日本でも数少ない「登り石垣」を有する洲本城。洲本市教育委員会の金田さんの解説による「洲本市立淡路文化史料館」の見学とともに、「洲本城友の会」の細川末勝さんによる洲本城の石垣について現地ガイドを聞くことができました。



●サポータークラブの活動紹介

淡路島日本遺産をもっと深く知りたい! 歴史好きの人たちとつながりたい! など、幅広い方々が集まるサポータークラブでは、年に数回の勉強会・交流会を開催しています。クラブへの参加申込みは、一般社団法人淡路島観光協会(TEL:0799-22-0742)まで、お問い合わせください。

ニュース
News

淡路島日本遺産RPG『はじまりの島』大好評!



『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」の歴史をロールプレイングゲームで体験。淡路島日本遺産RPG『はじまりの島』は、日本国内だけでなく海外からのダウンロードも増えています。まだ遊んでいない方は、レッツプレイ!

(プレイ時間/約25~30時間、敵モンスター/一般公募を行い、島内の小学生などが考案したデザインを基に作成、ゲーム内課金有)



ニュース
News

淡路島日本遺産がいろいろな雑誌で紹介されています!



一個人
KKベストセラーズ/2021年11月号

2000年に創刊された旅行や文化などを取材する月刊雑誌「一個人」。2021年11月号では、特集である「ふるさと遺産」の中で、後世の人、全国の人に知ってほしい「郷土の宝」とそれを培った土地の歴史や風土を紹介していく切り口で、「淡路島「海人」伝説」として淡路島日本遺産の構成文化財が紹介されました。特集では、御食園についての「京の台所「若狭もの」」、「海女漁と伊勢志摩の幸」をはじめ、歴史遺産が幅広く掲載されています。



時空旅人別冊 出雲と大和
株式会社三栄/2021年12月号

世の中の関心が高い歴史や文化をワンテーマで大特集する雑誌「時空旅人」。別冊「出雲と大和~古代日本の謎を解く~」では、日本最古の歴史書『日本書紀』の成立から1300年を迎え、古代史への注目が集まる中で、出雲と大和が徹底的に取材されています。第一章は、出雲大社をはじめ、驚くべき発見が相次いだ遺跡の数々を紹介。第二章は王権誕生の地である大和。淡路島日本遺産も「国生みの島-淡路島を往く」ページで紹介されています。

清川あさみプロデュース アニメ「くにうみ」が完成



刺しゅう作品を動かした
13分の神々のものがたり

2021年7月22日～8月15日に洲本市の「SBRICK」にて、南あわじ市出身のアーティストである清川あさみさんの活動20周年の企画展を開催。洲本市出身の女優のキムラ緑子さんも参加された、古事記から紐解かれたアニメーション作品「くにうみ」も披露され、人気を博しました。

注目ポイント！

10月15日に開幕した海辺につるした巨大スクリーンで映画を楽しむ「うみぞら映画祭」にて、アニメーション作品「くにうみ」で総合監督を務めた清川あさみさんと、ナレーションを担当したキムラ緑子さんの対談が実現しました。

写古事記がリニューアル！ 遂に完成しました！



写経のようになぞり書き
ができる「写古事記」

洲本市在住の書道家・つ花せんが『古事記』の「国生み神話」の一節をひもとき、写経をすかのように古事記を書き写すことができます。淡路津名紙「松鹿」の手漉き和紙を使用し、島の箱屋さん「あぐいのはこや」の化粧箱で優しく包み込むなど、書家と淡路島の手しごとがコラボした逸品。

注目ポイント！

写古事記は、年間100個限定。伊弉諾神宮「せきれいの里」、五色の恋文オンラインショップ他で販売中。伊弉諾神宮せきれいの里 ¥6,160(税込)、写古事記でぬぐい ¥750(税込)。

舟木遺跡・松帆 銅鐸の解説動画 がもうすぐ公開



島内の歴史の専門家が
語るオリジナル動画

淡路島日本遺産委員会では、各市の文化財の専門家から古代の詳しいお話を聞くオリジナル動画を制作。昨年の淡路市(14本)に続き、南あわじ市(8本)の公開準備が進んでいます。

南あわじ市の 御朱印ならぬ 「日本遺産印」



史跡名勝の御朱印を
オリジナルで制作

構成文化財を訪問した記念に、南あわじ市では松帆銅鐸と古津路銅剣について御朱印ならぬ「日本遺産印」を作成しました。和紙は淡路島の名産である玉ねぎの皮を使用し、障がい者多機能型施設ウィズで1枚1枚手作りで製作しました。

2022年秋、松帆銅鐸7体が 地元で勢揃いします！



古代研究の歴史を変えた！
南あわじの松帆銅鐸を見に行こう！

松帆銅鐸は2015年4月、南あわじ市松帆地域の石材加工工場で採集された砂山から発見。その中の1つは、弥生時代前期末～中期初頭の最も古い型の銅鐸で、音を鳴らす舌も一緒に見つかりました。特に珍しいのが、銅鐸の吊り手や4本の舌に、吊り下げるための紐の跡が残っていたこと。約2200年前のもので、これは全国で初めて。銅鐸の使い方の研究が大きく前進しました。

注目ポイント！

銅鐸を作る工房跡は、淡路島では見つかっておらず、摂津などで見つかっています。当時の銅鐸はとても貴重なもの、人々は初めて耳にする金属の音に驚き、神への儀式に使ったのでしょう。22年秋には、奈良文化財研究所から帰ってきた最後の銅鐸を含む、7体が展示されます。

淡路市の絵島が県指定の 史跡名勝天然記念物に！



淡路市では37年ぶりの快挙！
市内4件目の名勝が誕生。

淡路島の北部に位置する絵島は、歴史的にも数多くの作品の題材となり、学術的にも高い価値を持つ景勝地。ついに、島全体を文化財に指定し、文化財として守っていくことになりました。絵島は、約3,800万年前～3,500万年前の砂岩地層からできており、長い年月をかけて、風や波によって、かたち造られてきました。絵島の地質・地形・景観はとても貴重で、全国的に見ても、とても珍しいのです。

注目ポイント！

絵島の造形美は多くの歌人の心を動かし、平安時代以降には「枕草子」「平家物語」など、江戸時代以降には「淡国通名所図会記」をはじめとした本でも紹介。その後、国生み神話の中で、いざなぎ・いざなみの2神が国うみを行うために下り立った「おのこる島」の伝承地としても知られるようになりました。

NHKのブラタモリが 淡路島の歴史遺産に



淡路島日本遺産をテーマに
タモリさんが島内を巡る

NHKの人気番組「ブラタモリ」が淡路島に上陸。2021年9月25日・10月2日の2週に渡り、「淡路島の宝～神はなぜ淡路島を“はじまりの島”にした!?～」をテーマに、淡路市教育委員会の伊藤さんがナビゲートし、タモリさんが淡路島日本遺産の構成文化財である五斗長垣内遺跡や沼島をはじめ、淡路島の地質が詳しくわかる場所を巡りました。

検索

ブラタモリ 淡路島

石川県小松市で開催された 日本遺産サミットに 出展！



文化財・RPG・グッズと
淡路島ならではの魅力を発信！

2021年11月13日・14日に石川県小松市で開催された「日本遺産サミット」に淡路島日本遺産も参加。弥生時代の碧玉の玉つくりをはじめとして、2300年もの間、石の資源を見出した小松を舞台に、全国の日本遺産が集結し、それぞれのブースで各地の魅力を来場者に発信しました。

注目ポイント！

淡路島日本遺産ブースでは、三角縁神獣鏡をモチーフに洲本のスイーツ店「日洋堂」が手掛けた「銅鏡チョコ」、五色在住の書道家・つ花せんさんが制作した「写古事記」。その他、RPGにも注目が集まりました。

西日本高速道路と観光協会が コラボ旅行者へ淡路島日本遺産をPR

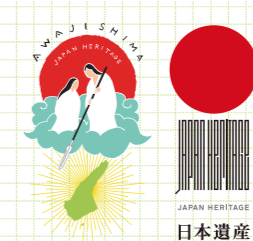


淡路島の魅力いっぱいの
情報が上板SA上り線に大集合

西日本高速道路の上板SA上り線にて、3月21日まで開催された「淡路島・四国 デジタルスタンプラリー」連動企画として、淡路島の魅力を発信できる「ひと足先に、淡路を先取り！ ENJOY淡路島」コーナーを設置。お得なクーポン配布のほか、日本遺産RPG「はじまりの島」のキャラクター写真を撮ることができる等身大パネルがズラリと登場。

注目ポイント！

スマートフォンを活用し、対象施設やSA・PAに設置しているQRコードを読み込むことでスタンプを獲得。集めるスタンプの個数に応じて賞品が当たる、期間限定の抽選に応募することができました。



古代と今をつなぐ
淡路島日本遺産最新の
ニュース10をご紹介

舟木遺跡での新発見、7体すべての松帆銅鐸が勢揃いするなど、淡路島の中でも日本遺産への注目度が高まっていること、ご存知でしたか？ 普段の生活の中ではなかなか触れることがない歴史の世界ですが、淡路島ではこんなにも身近にビッグニュースが起きているのです。



淡路島日本遺産RPG 新エピソードを公開！



古事記の日本創世神話がRPGに！ 令和4年4月リリース予定

▶RPG日本創世譚 ストーリー

前作、優弥編の物語から遡ること幾星霜(いくせいそう)、時は天地開闢(てんちかいびやく)の神代。神々の国・高天原を治める別天神(ことあまつかみ)は、果てなく広がる混沌を固めて国土とするための神器「天沼矛」を完成させたが、突如として高天原に現れた魔物たちにより、天沼矛をはじめとする数々の神器が奪われてしまう。

そこで別天神を神代七代の最後に生まれたイザナギとイザナミに、奪われた神器の奪還を命じた。魔物たちとの激しい戦いの旅の中で、イザナギとイザナミはお互いへの信頼を深め、理想的な国生みという大切な夢を抱くようになる。前作の優弥編へと繋がるエピソード・0(ゼロ)の国生み神話編。

魂を引き裂かれるような決別の果てに、イザナギとイザナミが選んだ未来とは。神々の勇気と愛憎の物語が、いま明らかされる。

注目ポイント！

南あわじ市出身の人気声優・興津和幸さんが前作に続いてイザナギの声を担当してくれました。興津さんのボイスをダウンロードすることで、RPGにより感情移入でき、楽しめます。